

# 殺虫剤

スミチオン乳剤

# 緑化用スミチオン<sup>®</sup>乳剤

農林水産省登録 第 21704 号

(住化グリーン<sup>®</sup>緑登録)

性状：黄赤色澄明可乳化油状液体

毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

消防法：第 4 類第 2 石油類

有効年限：4 年

包装：1 ℓ × 10

有効成分：MEP (PRTR・1 種)……………50.0%

その他成分：有機溶剤、界面活性剤等……………50.0%

(キシレン (PRTR・1 種) 19.2%)

(エチルベンゼン (PRTR・1 種) 19.2%)

スミチオン<sup>®</sup>は、住友化学㈱の登録商標です。

## 特 長

- 低毒性の有機りん系の浸透性の強い殺虫剤で広範囲の害虫にすぐれた防除効果を示す薬剤です。
- 発売してから 50 年経過し、長くご愛顧いただき、高い信頼を受けています。

## 適用病害虫名および使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	MEPを含む農薬の 総使用回数	
芝	コガネムシ類幼虫	1000倍		発生初期	6回以内	1㎡当り3ℓ散布	6回以内	
	シバツトガ					1㎡当り		
	スジキリヨトウ					0.3~2ℓ散布		
	シバオサゾウムシ			幼虫発生期		1㎡当り3ℓ散布		
つつじ類	ハマキムシ類	500~1000倍						
	グンバイムシ類							
樹木類	アブラムシ類	500~1000倍						
	グンバイムシ類							
	フラーパラゾウムシ							
	アメリカシロヒトリ							
せんりょう	アザミウマ類	1000倍				散布		
	カメムシ類							
こでまり	カイガラムシ類							
にしきぎ	ケムシ類							
しゃりんばい だいおうしょう	シンクイムシ類							
さかき	ハマキムシ類							
さんごじゅ	ワタノメイガ							
きく	フラーパラゾウムシ	1000~2000倍						
	カメムシ類							
	ヨトウムシ類							
ばら	アブラムシ類	1000~2000倍						
	フラーパラゾウムシ	1000倍						

## 使用上の注意事項

- ボルドー液と混用する場合は散布直前に行ない、できるだけ早く使用してください。  
ただし、その他のアルカリ性の強い農薬との混用はさけてください。
- DCPA剤との同時施用及び10日以内の近接散布は薬害を生ずるおそれがあるのでさけてください。
- 本剤は自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意してください。
- あぶらな科作物には、薬害を生ずるおそれがあるので付近にある場合にはかからないよう注意して散布してください。
- ひのきに対しては個体によって落葉、枯損に至るおそれがあるので、付近にある場合はかからないように注意して散布してください。
- 芝のコガネムシ類幼虫に使用する場合は、散布液が土壤中に十分しみ込むよう、ジョロ等で1㎡当り3ℓを散布してください。

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響がありますので以下のことに注意してください。
  - ① ミツバチの巣箱およびその周辺にはかからないようにしてください
  - ② 養蜂が行われている地区では周辺への飛散に注意する等、ミツバチの危害防止に努めてください。
- フラーパラゾウムシに使用する場合は、植物防疫(事務)所、病害虫防除所等関係機関の指導をもとに実施してください。

## 安全使用上の注意事項

- 誤飲などのないように注意してください。
- 本剤の解毒剤としては硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤が有効であると報告されています。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼にはいらないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないように注意してください。付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

## 水産動植物に関する注意事項

- 水産動植物(魚類、甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないように注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行ない、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。